



発行所 興行寺教化部

福井県吉田郡永平寺町
電話 0776-64-2744
FAX 0776-64-2791
新田塚道場(支坊)
福井市新田塚2丁目46-26
電話 0776-26-1191
FAX 0776-26-7868

如来の智慧と慈悲を頂いて

宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌法要も、早いもので一年を迎えようとしている。昨年一月から当日まで準備でいそがしい毎日であった。もうこれで良いということにはなれず、まだ、完璧でない所があると心配なことが多くあった。
当日は、役員の方々の適格な動きと判断でスムーズに進行し、終わった後は感動が体全体にほととじた。「皆んなそれぞれにご協力下されまして、特に若い方々のご協力、本当にありがたいことであった。次世代へと継いでい



くことを心より期待したい。前門様をお迎えしての法要は直接おことはを聴聞することが出来る喜びがあり浄土真宗の僧侶として、ご門徒としてみ教えを味わいさせて頂きました。
さて、前門様のおことば(一十八年興行寺新報秋季号に掲載)の中に、「仏教の目指す所は、この世を上手に生きることではなく、この世を越えた真実に照らされ、支えられて人生を歩むことと云えましょう。親鸞聖人が開かれた浄土真宗は人間の欲望・煩惱のうづ

まく世をぬけ出して、悟りを目指すのでなく、阿彌陀如来の智慧と慈悲のはたらきである「南無阿彌陀仏」をいたすこと、この世にありながら、この世を越えた生き方を目指すことです。
阿彌陀如来のはたらき、本願のはたらきである「南無阿彌陀仏」が要である。」とお話されました。
我々の日常生活は煩惱うずまく毎日であります。煩惱具足といわれたが、煩惱が百パーセントそなわっていることとは無明煩惱が我が身に満ち満ちて、欲も多く、怒り腹立ち、ねたみの心が多く臨終の最後まで、止まらず、消えず、絶えない私です。
このような凡夫に親鸞聖人は「煩惱具足の凡夫である。我らの為にこそ、本願します」と云われました。
煩惱を無くそうとして自力の修行を行っても、懺悔をしても無くならないのが煩惱です。「共に凡夫であること、無くならない煩惱をかゝって生きていくという事実を改めて気付く、善人ぶらず、謙虚に、み教えの道理に頭を下げる」とあります。
和讃の中に
「煩惱にまなごえられて、
摂取光明みされども、
大悲のうきことなくて常に我が身を照らすなり」とあります。
お念仏と共に、ご恩報謝の中に日々生かさせて頂きま

法話

桜の花を見たか

本誓寺住職 松本 梶丸先生



先日、ある地を訪れた時、
迎えて来てくださった方が車の中でしみじみとう言われた。「今まで何十年も生きてきて、毎年、桜を見てきたけれど、本当に桜の花を見たことがあるだろうか」と。ひとりごとのように言われたその言葉がなぜか私の心に止まった。私もまた何十年も桜を見てきたが、果たして本当に桜の花に出合ったことがあ

さ知らされたのであろう。もと北面の武士・佐藤義清は、二十三歳で出家して西行と名乗った。戦乱に明け暮れる日々に、世の無常を感じたのであろうか。その西行に「すて果てて身はなきものと思へども雪のふる日はさぶくこそあれ」という歌がある。出家するということは、名利を捨て、名利に苦しむ煩惱の身を捨てるといふことであろう。だが、西行は「すて果てて」なきはずの身が、雪の降る日はやっぱり寒いという。ごまかすことのできないこの身の存在を知られたのであろう。それからおよそ五百年後、

第二十五代専如門主 伝灯奉告法要

昨年十月一日より、本年五月三十一日まで、十期八十日間にわたり、伝灯奉告法要が本願寺においてつめられていきます。これは御影堂の宗祖親鸞聖人の御前にて第二十五代専如門主が法灯を継承したことを奉告される法要であります。
組内でも一回に分けて、団体参拝を行います。興行寺は三月十一日(土)四十五名バス一台で参拝です。
ご門主は「このたびの法要では、ご参拝の皆さまと共にそのことをよるこび、次の世代の方へと伝えいく決意を新たにしたいと思えます。
浄土真宗のみ教えを聞かせていたく私たちは、阿彌陀さまの真実の姿に気付かされます。それは物事を自分にとつて都合がいいように考えたり、自分自身のことを正当化する自己中心的な姿であります。しかし、社会において、皆が自分の正当性を主張したので

は、対立しが生みません。浄土真宗のみ教を聞き、阿彌陀さまのはたらきの中で生かされている私たちは、困難なことではあります。少しも自己中心的なあり方から離れ、他の人々と共に幸せに生きていけるような社会を築くことが大切です。
浄土真宗のみ教を依りどころとして、日々の暮らしを送るとともに、ご縁ある方へもみ
教を依りどころとした生き方を伝えてまいります。
伝灯奉告には、ご縁ある方と共にご参拝くださいと述べてお願っております」と述べておられます。
個人的は参拝も出来ませので、ご縁がありましたら、是非ご参詣下さい。
■今後の法要の予定
第六期 三月二十八日(日)四月四日
第七期 四月十一日(日)四月十八日
第八期 四月二十八日(日)五月五日
第九期 五月九日(日)五月十六日
第十期 五月二十四日(日)五月三十一日

Table with financial data: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Includes items like 大遠忌記念事業ご懇志, 法要 当日お敬, 法要 当日お賽銭, 受取利息, 扁敬式 受式申込金, 稚児行列申込金, 合計 31,644,662. Expenditure includes 記念事業工事, 法要費, 法礼, 内陣荘厳, 記念品, 本山・僧侶 接待費, 交通費, 弁当代, 門徒感謝の集い, 会議費, 写真・ビデオ, 広告費, 印刷費, 扁敬式, 稚児業者支払, 事務通信費, その他雑費, 合計 29,310,268.

収入31,644,662円-支出29,310,268円=2,334,394円(特別会計口座へ)なお、この他に個人の特別懇志がある。総額1,650万円、他土地の寄附、木材の寄附などがありました。

ホームページのご案内
平成25年より、興行寺のHPが新設されました。4月の法要の模様、桜の開花など、どうぞご覧下さい。
URL http://www.kougyouji.jp
携帯・スマートフォンのバーコードリーダーで読み込んで下さい。

北陸布教の道 (四)

超勝寺・興行寺の誕生とその特徴



いよいよ興行寺の誕生になるが、その前に和田本覚寺が先に成立しているのので、今号で述べる。

和田信性と本覚寺

前述のごとく、『反古裏書』には、南北朝期の人物として、三河證寺の末学たる和田信性が登場する。如道と同じ円善系の者である。信性は、後世越前本願寺教団を代表する本覚寺の祖である。福井県永平寺町本覚寺の天和三(一六八三)年越前和田本覚寺由緒書では、開

基信性を親性ととし、関東御家人の波多野永平が親鸞に帰依したと記す。小松市本覚寺の明治十一(一八七九)年本覚寺寺院明細帳では、開基親性が建久元(一一一九〇)年「越前足羽郡和田郷西方村(現永平寺町)」に一字を建立したと記す(『加越能寺社由来』下五六四頁)。

永平寺町本覚寺には、見るからに古さの感じられる阿弥陀如来立像・聖徳太子像(十六歳像。髪を左右に振り分け美豆良に結ぶ。右手・左手とも、胸元に向かって結ぶ。威儀紐は鑲で結ぶ。衣に多数の紋様あり)・親鸞座像(両手平行。鑲あり。衣の端は腕で結ぶ)が現存している。

近年、本證寺の聖徳太子立像が解体修理され、詳細な報告書が公表された(安城市教育委員会編『本證寺蔵木造聖徳太子孝養像一修理報告書』一九九四年)。

本證寺の小山正文氏ならば、安城市歴史博物館の天野信治氏は、本證寺蔵太子像(像高一三三センチ)と本覚寺蔵太子像が、作風・構造・寸法などの点から、同じ仏師による双子像であると主張している(天野信治「野寺本證寺の孝養太子像について」越前和田本覚寺像との

類似点をめぐって)『安城市歴史博物館研究紀要』創刊号、一九九三年。安城市歴史博物館特別展「聖徳太子像の造形」。

親鸞座像も等身に近い大きさで、関東における親鸞旧跡と称される寺院では散見されるもの、北陸地方では極めて珍しいものである。安城市教育委員会編『本證寺蔵木造慶円上人座像・木造阿弥陀如来立像一修理報告書』(一九九九年)の慶円座像と比較すると、顔相は極似し、体形や衣の線も似ている。違いは慶円座像が古形の合掌姿をしている点である。慶円座像の像内からは貞和三(一三四七)年の墨書銘が発見されており、本覚寺の座像も、本格的な解体修理が期待される。この報告書で紹介されている

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を振り返って

仏教壯年会 副会長 但川 隆 治

素晴らしい天候に恵まれ、沢山の方々にお参りをいただき盛会の内に終了できました。前日の打ち合わせに寄せていただいたときに、総代の方々をはじめ寺内の大勢の方々がご尽力により滞りなく準備が出来ておりびっくりの準備が出来ておりました。こうやって沢山の方々を支えられて準備が進められ、本番を迎えることが出来るのだと痛感いたしました。

天候に恵まれ、時間がたつにつれ大勢の方々のお参りの中、九時二十分より荒川興行寺仏教壯年会四十周年記念式典が、柴田喜代美会長の挨拶で開始されました。式典に引き続き笑福亭仁智氏による『お寺念珠つなぎ落語会』が一時間余しの時間、笑いと拍手の中和やかに終了しました。

今までの何回も何回も担当の方々が打ち合わせを進めてくれましたが、当日打ち合わせに見えられた方々は、自分の担当の中身もすぐに理解

できない様子で苦勞されておられました。遅くまですりあわせが行われ当日を迎えることとなりました。

も厳かの雰囲気の中終了されました。昼食後、稚児行列が行われました。《九時三十分から十一時三十分の受付。準備で子どもたちもお疲れの表情ででした》稚児衣装をまとい可愛らしく今回二百九十一名の参加が有り、ご両親ももとよりおじいさん・おばあさんそして親戚の方やおじさん・おばさん兄弟・姉妹もお参りしていただき列が途切れることなく沢山の方々の御参加をいただきました。感謝感謝の気持ちでした。【お稚児さんとは、寺院の法要などに装束を付けて行列し、仏さまの智慧と慈悲を身に受けて、かしこくやさしい子どもに育つようにという願いを込めて法要に参加いただくものです。】あの笑顔が全てを苦勞も吹っ飛ばしたようでした。

いよいよ、法要が始まりました。私には初めての光景であり感動いたしました。前門様のお言葉で心が癒やされる瞬間を迎えることが出来ました。今まで以上に、ありがたさを感じるひとときとなりました。ついでに、副任職様の進行のもと、一部ハブニングも感じましたが、無事に終了しました。【のちに、前門様が「とてもいい集いで若い方々に支えられておられましたね。」と「ねぎらいのお言葉をいただいたと聞き及びました。住職様・副任職様・皆さんのご苦勞が報われた一言であったと感じました。本日に沢山の方々を支えられての記念式典・七百五十回大遠忌法要でした。今回の法要に参加し、得るものがいっぱいありました。これからも、一人でも多く、一回でも多く興行寺へ足を向け、お参りいただくことをお願い申し上げます。そこは金色の巨大な岩が今にも転げ落

ミャンマー仏教遺跡探訪

法務員 大谷 幸 美

本證寺蔵阿弥陀如来立像の風貌(顔相や衣の線等)も、本覚寺蔵阿弥陀如来立像と極似している。これからの点を踏まえると、信性は単なる「本證寺ノ末学」という以

上の存在で、あるいは本證寺の一族ではなかったのかとさえ想像してしまふ。「真宗の教え、北陸布教の道」調査報告書より



ゴールデンロック

平成二十八年六月月中旬、興行寺住職様よりミャンマー仏教遺跡探訪旅行のお誘いを受け、御同行させて頂くことになりました。ミャンマー(旧ビルマ)は日本国の約一・八倍(面積)、人口は五千万人、地図上ではインドとタイの中間に

ちそう不思議な景観です。その迫力に圧倒されます。でも問題はそこにたどり着く行程でした。それは目的地に向かう途中バスから降りられ、改造トラックの荷台に乗せられ山間の細い道をまるでジェットコースターよろしく猛スピードで走り抜けるのです。振り落とされないように必死でしがみついています。これが観光目玉の一つでしょうか。怖かったです。

◆ 人事

次に訪れたのはバガンの仏教遺跡です。これは世界三大遺跡ふさわしく約二千五百もの堂塔伽藍(パゴダ)が樹立しその光景に言葉を失うほどです。「バガンを見ずしてミャンマーを語ることはない」とここに立たないとこの感激は得られないものです。「素晴らしい風景です」、としか言葉が見つかりません。旅行最終日に日本人墓地を訪ねお参りさせて頂きました。かつて太平洋戦争(一九四一―一九四五年)日本軍はビルマに侵攻、イギリス・米国の戦い敗戦を期し十八万人もの日本兵士が命を落としたと云われます。当時はここビルマだけではなくニューギニア、パラオ、フィリピン、ソロモン、ボルネオ等々遠く日本を離れた地で敗戦の憂き目にあい多くの命を失っておりです。兵士の無念さが聞こえてくるようでした。戦

争は二度と繰り返してはならない、決意を新たに日本人墓地を後にしました。そして、近年になって日本企業はミャンマーに数多く進出しており時代の流れを感じます。旅行最後の日まさか私は激しい下痢に悩まされた。特に生水を飲んだ覚えもなく蚊に刺された記憶もなかった。只、ミャンマーはインフラ整備も遅れ街全体も不衛生である。帰国後すぐ病院に駆け込み検査を受けたが大事なく下痢も二日程度で回復した。この時私がかつての戦争で東南アジアに出兵した日本兵の多くは下痢、発熱し、マラリアに感染して命を落とすといったんではないだろうか、そんな思いを強くしました。最後に今回は素晴らしい仏教遺跡を訪ね歴史の一端に触れ感慨深い旅行となりました。又同行された皆さんの和やかな雰囲気旅行出来ましたことに感謝いたします。

- ◆ 退任
 - 総代 丸山清士氏 (十六年間)
 - 総代 山田啓一氏 (十二年間)
 - 両氏、蓮如上人五百回忌、昨年の宗祖七百五十回忌の法要を始め、寺院の護持発展のためにご尽力いただきました。感謝申し上げます。
 - ◆ 新しい総代
 - 再任 今井克己氏
 - 新任 柴田喜代美氏
 - 南保秀樹氏
 - 山田芳雄氏

常例布教

毎月十三日午前九時半
新田塚幼稚園二階
興行寺支坊

URALA 28年12月号 幼稚園紹介



『新田塚幼稚園』に学ぶ、

手を合わせる心の教育

「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」が人としての心の基本。

みなさんは、大切な我が子にどのように育ててほしいと思いますか？おそらく多くの人が「人としての基本の心」をもった、優しく思いやりのある子に育ててほしいと思われていることでしょう。

お仏壇の存在が、自分自身の行動や言動を振り返るきっかけに。

私の息子が通った『新田塚

幼稚園』は、浄土真宗の教え

に基づく保育を行なっており、親鸞聖人やお仏壇に手を合わせる事が、ごく自然に営まれています。

そんな自分を受け入れ、支えてくれる人のありがたさを知ることが、お仏壇で手を合わせるという習慣なのだそうです。

また、先生方は子ども自身の「つぶやき」を大事にしており、小さな言葉もしっかりと耳を傾け、対話をしてくださいます。

を生み、自分で考え、行動する力となるのです。

幼稚園に通って元気なあいさつや思いやり、整理整頓という心の基本を育んでほしい。私が考える「お仏壇と子育てのやさしい関係」のあり方を、『新田塚幼稚園』は素晴らしい形で実践されています。

「仏様が見ているよ」は、誰かがいつも見守ってくれているという安心感に。

豊かな心に必要なものを、どう我が子に伝えていくのか。私も親として日々悩んでいるからこそ『新田塚幼稚園』のような、日常にお仏壇がある生活を提案したいのです。

お便り



様に見守られている感謝と、正しい行いをする大切さを共有する習慣がつくりやすいと思います。子どもに心の成長

拝啓

正月も間近になって参りました。朝夕の気候は秋の終わりかと思われまふ。皆様方にはお変わり無く御清栄のこととご遠察申し上げます。私も身体障害者となつて、週三日通院の日々です。長いことお便りも差し上げませぬ、誠に申し訳なく思つております。このお便りを書きながら、興行寺のことが思い出されます。もう一度、皆様方とお逢いしたい気持ちですが、体の不調で思うようになりませぬ。たゞお便りのみが楽しみです。これから寒さが厳しくなると思いますが、暮々もお体を大事になさつて下さい。

興行寺の御繁栄をお祈り申し上げます。 二十八・十一・七

を促す、育ての場としてもお仏壇を役立ててほしいものですね。

六道四生の迷い坂 深き教の道知らず 浄土の里に思いを浮べ 是るか彼方の弥陀の国 夢見る里は 此岸花

弥陀の教えに導びかれ 光明浄土のみ教に 誠の慈悲を敬いて 是るか彼方のお浄土は 船に乗せて 西の岸

勝縁の功德利益の 誠の道に救われて 弥陀の姿に手を合せ 深き恵みに お念仏 花咲く里は 彼岸花 鹿児島県日置市 東 一男様

先日は児童一泊研修会でお世話になり、ありがとうございました。最近、土曜学校にも参加できなくて、仏さまの話聞く機会がありませんでしたが、研修に参加させて頂いたおかげで仏さまのお話を聞くことができ、とてもよかったです。 福井市和田 仙田詩織さん (土曜学校卒業して、中学生、サブリーダーとして参加して下さい)

春たけなわの季節です。が、お元気で過ごさしのこととお慶び申し上げます。先日、テレビを見ました。興行寺、境内のしだれ桜、そして先生の非常にお元氣な姿、本当に懐かしく嬉しかったです。ふとペンをとりました。どうぞ、くれぐれもご自愛ください。 南越前町今庄 中村隆夫様 (前わらべの里園長)

永代経懇志 (信徒)

Table with 4 columns: Name, Relationship, Age, Location. Includes entries like 朝日一寿殿 (父), 武内栄治殿 (母), etc.

特別永代経

Table with 2 columns: Name, Location. Includes 長谷川茂男殿 (妻13回忌), 勝山

亡くなられた方々 (敬称略)

避雷性に落雷

昨夏八月二十日夜、すごい雷雨と共に、本堂の避雷針柱にすごい音と共に落雷した。本堂やその他の建物には異常なく幸いでしたが、消火設備電源盤が破壊故障した。しかし、お陰でプラニ(本願寺の火災保険)に加入していたので、修復費三十万八千円は全額保障された。

本堂廊下板張り返え

昨春、法要間近に本堂の廊下の下段と階段が新しく、義岡藤四郎氏からの木材の寄附があり、立派に出上った。この木はアバ(日本では樺)同質。このアバについてであるが、奈良の興福寺では八世紀に建築された中金堂の復元が進められている六十六本の柱に使われているのが、当寺と同じアバという木材である。アバはカメルーンやナイジェリアなどで育つ木で直径二メートル

桜の季節が、もうすぐやってくる。

昨日は五十年一度の宗祖親鸞聖人大遠忌法要があり、花見コンサートは出来ませんでした。今年も四月九日(日)に予定しています。おなじみのGENさんのコンサートです。GENさんは金沢市内の幼稚園の園長先生で、音楽に才たけ、テレビのコマーシャルにも出演しています。

四月九日・花見コンサート

当日、しだれ桜はどうでしょう。冬の時期、雪の量と寒さによって開花が遅うて来ます。普通なら四月上旬、昨年のように雪が少なければ三月末より四月の初め、大雪なら四月中旬にずれ込みます。桜は地熱に左右されます。咲き頃を見て、庭園を開放し、ライトアップもします。自由にしだれ桜に合はせて下さい。

二十八年卒園保護者の声

二才をすぎた頃、幼稚園探しを始めて何ヶ所が市内の園を見学に行きました。新田塚幼稚園に初めて見学に来た日、先生と子供たちの元気なあいさつとその姿にとても感動して「この幼稚園に入れたらいい」と心をつかまれました。子供が入園してから、幼稚園での教えや先生方の話は私の子育ての指針となりました。もちろんな内容が驚く事ばかりでした。

泣いていいんだよ。という先生の言葉に入学してから二ヶ月過ぎ続けた子を怒らなくてすみました。体操服なんて着ないよ！と毎日私服で幼稚園に行っても、来るだけで百点満点と言ってくれたり、親もも同じ人間だから子供にダメな部分を見せたいなど、私が思い込んでいた事と正反對の事ばかりで私は新田塚幼稚園と出会って良かったら、どんな風に子供を育てていったらいいかと思えました。

正直、私はあみださまやしんらんさまの事はよくわかりませんが、仏教の教えは人の根本を育てる上でとても大切な事だとも思っています。大人がわかっていてもできない事、やらない事、忘れてしまっている事を気付かせてくれます。

うちの子供達は、三年間たたくさんのお話を聞かせて頂いたので、きっと人生の糧になったと私は信じています。何より私が新田塚幼稚園と出会えたご縁に感謝しています。ありがとうございます。

土曜学生作文

五年 橋 本 愛 花

私は毎月一回の土曜学校に行くことを楽しみにしています。みんなであみだ様に手を合わせ正信偈を唱えると心が落ち着き、ホッとします。大先生や先生方のお話を聞くとき、自分を見つめることができ心がすっきりします。

月に一回ですが、母と来ています。うれしいことも辛いことも話しが出来る関係でいられることは仏様の教えを学んでいる

息子「順位なんて関係ないんだよ。がんばったからすごいハッとし、この日の言葉に向けて練習した日々を思い出して、目頭が熱くなりました。勝負の世界、順位にこだわるのは当然なのですが、努力した過程も同じくらいか、それ以上で大切なことだと思いついてくれた瞬間でした。運動会を通して、息子なりにいろいろ感じたのだなと思いました。

みんな頑張る、運動会だと本人の気持ちも変わっていたのだと思います。一人で出来ることもみんなやればもっと楽しく大きなものになるのだと私自身も学ばせて頂きました。最近では、本当にごく当たり前の事にも「ありがと」と言ってくれる優しい気持ちや最後まであきらめない頑張り姿が、この新田塚幼稚園から学ばせて頂いたと思っています。本当にありがとうございます。

自分を振り返ったり、心まで目を向けて言葉掛けて下さるなど、先生方の配慮が嬉しいです。家では目先の事だけを見て、しかたたり日々の生活を送りがちですが、園だよりや先生方のお話、幼稚園での行事に参加させてもらい、私自身一歩踏み込んで考える事ができるようになった気がします。

自分、学校とは少しちがう学年の時ばかりでした。一年生の時にはお友達もいっぱいいて心のお勉強をしに行ったのではなく、お友達に会いに行っていたんです。二年生、三年生になるとお友達もなくなったり、休んだ日もありました。でも、高学年の四・五年生くらいになるとお友達に会いに行くのではなく、心のお勉強をしに行くようになりました。そして、夏の一泊研しゅう会です。

私が、土曜学校に今まで行っていた理由はもちろん心の勉強をしに行くためです。でも低

私自身は、子どもたちのように親らんさまを意識することとはできないですが、目に見えないものを信じて、守られていると感じることが出来るのは、安心できるだろうと思います。毎月園だよりを読ませていただき、先生方の心からのつぶやき、心を動かされます。自分だったら、人に知られたくない、気持ちとか、弱い自分とか、それをあえて見せて下さっている。それによって、読んでいこうと思ったり、反省することが出来るのです。このようなおたよりには、新田塚幼稚園にしかないと感じます。本音をつぶやくことで、相手の心も動く、そして心がすっきりして下さるということ、私も学ばせていただきました。ありがとうございます。

六年 中 山 紗 希

まずは、話を聞いてみる。こつちも話をしてみよう。待つてみる。これをやってみて、おこつていても、少し冷静になれたらいい。子どもの考えを知る事が出来る。きつと新田塚幼稚園でなければ感情的におこつてただけだったと思います。ついで、手をあげてしまった時も、子どもにあやまる事が出来る。相手の立場になって考える事も増えたり、つい忘れがちな事事あたりまえの事を考えさせて頂けた。気づかせて頂けた。文章にするのが苦手なので、書ききれないですが、新田塚幼稚園にご縁を頂けて本当に良かったです。

年少の頃には言えなかった「ありがと」が今では自然とその言葉も口から出ていて、毎朝の「いつも、ありがと」と言います。心の心が定着してくれているのかなと思えます。あたり前の事かも知れないけれど、その大事な言葉を出せない子どももいる中で、新田塚の日々の積み重ねの重みは大それたなと感じました。

他の園を経験した事がないので分かりませんが、子供達が何かトラブルがあれば必ず新田塚の先生は、本人同士ちゃんと話し合いをさせ、先生方もそれにどう対応するか、というのはずばらしい事だといつも思いました。何かあっても「ごめんね」と言わせても、なぜそういう気持ちになったのか、どういう気持ちだったのか、そういう気持ちになったのか、些細な事でも、つぶやけるのは簡単なようで難しい事だと思っただけ、新田塚の子はそれが普通

自分のことを振り返ってみたい、深く考えてみたい、話し合ったりすることは、面倒に感じることも多く、忙しい毎日の中ではごまかして通り過ぎようとしてしまっています。小さい頃から分らないだろうとか、ま

私には、学校とは少しちがう学年の時ばかりでした。一年生の時にはお友達もいっぱいいて心のお勉強をしに行ったのではなく、お友達に会いに行っていたんです。二年生、三年生になるとお友達もなくなったり、休んだ日もありました。でも、高学年の四・五年生くらいになるとお友達に会いに行くのではなく、心のお勉強をしに行くようになりました。そして、夏の一泊研しゅう会です。

私が、土曜学校に今まで行っていた理由はもちろん心の勉強をしに行くためです。でも低

私自身は、子どもたちのように親らんさまを意識することとはできないですが、目に見えないものを信じて、守られていると感じることが出来るのは、安心できるだろうと思います。毎月園だよりを読ませていただき、先生方の心からのつぶやき、心を動かされます。自分だったら、人に知られたくない、気持ちとか、弱い自分とか、それをあえて見せて下さっている。それによって、読んでいこうと思ったり、反省することが出来るのです。このようなおたよりには、新田塚幼稚園にしかないと感じます。本音をつぶやくことで、相手の心も動く、そして心がすっきりして下さるということ、私も学ばせていただきました。ありがとうございます。

この世に「生」を受けてまだ五年しか経っていないのに「ママ、産んでくれてありがと」と言ってくれたことがあります。私はそんなこと親に言ったことはないと思います。百点満点のママじゃなくても、そんな風に言ってくれて、本当にうれしかったのと同時に、もつとがんばらなよ！と思いつきました。私が小さい時は、何だかお仏壇が怖かったけれど、息子も娘も何も怖がらず、毎日ではないけれど、お参りする時があります。亡くなった私の祖父(息子)も一緒に暮らしていましたが、これも大切にしてくれています。祖父の好きだった食べ物やオカシがあるとお仏壇におそなえしてくれています。

家でも話をしていても、今の自分の心はどう思っているかな？と考えながら話をしてくれたり、自分の中の気持ちをかき出してくれたり、自分の中の、自分の正直な心と向き合う習慣ができた事はとてもよかったです。

日常の生活の中で「あみだ様」「親らん様」を感じながら過ごしている子供達。この先、おおきくなっても、この真つすぐな心に素直に受けとめることができる時期に教えて頂けたことは、必ず残っているのだらうと思います。幼稚園に入ってから、子供に教えてもらう事、気づかせてもらう事たくさんあります。

最近、子供に「ありがと」を言うように心がけています。「おもちやを片付けて、偉かったね」ではなく、「片付けてくれたありがと」「助かったよ」「嬉しう」など、「偉かったよ」「良くできたね」より、自分は役に立っているという満足感、そして自信にもつながるのかなど、子供とも対等であられる気もしています。

私自身、親として、ひとりの大人として、学ぶことが多々あり、いや学ぶことだらけで、新田塚幼稚園のご縁を心から感謝しています。幼稚園を決める際、三園まわったのですが、子どもたちを育てられる最善の園に決められて、本当に良かったです。

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

この世に「生」を受けてまだ五年しか経っていないのに「ママ、産んでくれてありがと」と言ってくれたことがあります。私はそんなこと親に言ったことはないと思います。百点満点のママじゃなくても、そんな風に言ってくれて、本当にうれしかったのと同時に、もつとがんばらなよ！と思いつきました。私が小さい時は、何だかお仏壇が怖かったけれど、息子も娘も何も怖がらず、毎日ではないけれど、お参りする時があります。亡くなった私の祖父(息子)も一緒に暮らしていましたが、これも大切にしてくれています。祖父の好きだった食べ物やオカシがあるとお仏壇におそなえしてくれています。

家でも話をしていても、今の自分の心はどう思っているかな？と考えながら話をしてくれたり、自分の中の気持ちをかき出してくれたり、自分の中の、自分の正直な心と向き合う習慣ができた事はとてもよかったです。

日常の生活の中で「あみだ様」「親らん様」を感じながら過ごしている子供達。この先、おおきくなっても、この真つすぐな心に素直に受けとめることができる時期に教えて頂けたことは、必ず残っているのだらうと思います。幼稚園に入ってから、子供に教えてもらう事、気づかせてもらう事たくさんあります。

最近、子供に「ありがと」を言うように心がけています。「おもちやを片付けて、偉かったね」ではなく、「片付けてくれたありがと」「助かったよ」「嬉しう」など、「偉かったよ」「良くできたね」より、自分は役に立っているという満足感、そして自信にもつながるのかなど、子供とも対等であられる気もしています。

私自身、親として、ひとりの大人として、学ぶことが多々あり、いや学ぶことだらけで、新田塚幼稚園のご縁を心から感謝しています。幼稚園を決める際、三園まわったのですが、子どもたちを育てられる最善の園に決められて、本当に良かったです。

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

この世に「生」を受けてまだ五年しか経っていないのに「ママ、産んでくれてありがと」と言ってくれたことがあります。私はそんなこと親に言ったことはないと思います。百点満点のママじゃなくても、そんな風に言ってくれて、本当にうれしかったのと同時に、もつとがんばらなよ！と思いつきました。私が小さい時は、何だかお仏壇が怖かったけれど、息子も娘も何も怖がらず、毎日ではないけれど、お参りする時があります。亡くなった私の祖父(息子)も一緒に暮らしていましたが、これも大切にしてくれています。祖父の好きだった食べ物やオカシがあるとお仏壇におそなえしてくれています。

家でも話をしていても、今の自分の心はどう思っているかな？と考えながら話をしてくれたり、自分の中の気持ちをかき出してくれたり、自分の中の、自分の正直な心と向き合う習慣ができた事はとてもよかったです。

日常の生活の中で「あみだ様」「親らん様」を感じながら過ごしている子供達。この先、おおきくなっても、この真つすぐな心に素直に受けとめることができる時期に教えて頂けたことは、必ず残っているのだらうと思います。幼稚園に入ってから、子供に教えてもらう事、気づかせてもらう事たくさんあります。

最近、子供に「ありがと」を言うように心がけています。「おもちやを片付けて、偉かったね」ではなく、「片付けてくれたありがと」「助かったよ」「嬉しう」など、「偉かったよ」「良くできたね」より、自分は役に立っているという満足感、そして自信にもつながるのかなど、子供とも対等であられる気もしています。

私自身、親として、ひとりの大人として、学ぶことが多々あり、いや学ぶことだらけで、新田塚幼稚園のご縁を心から感謝しています。幼稚園を決める際、三園まわったのですが、子どもたちを育てられる最善の園に決められて、本当に良かったです。

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

この世に「生」を受けてまだ五年しか経っていないのに「ママ、産んでくれてありがと」と言ってくれたことがあります。私はそんなこと親に言ったことはないと思います。百点満点のママじゃなくても、そんな風に言ってくれて、本当にうれしかったのと同時に、もつとがんばらなよ！と思いつきました。私が小さい時は、何だかお仏壇が怖かったけれど、息子も娘も何も怖がらず、毎日ではないけれど、お参りする時があります。亡くなった私の祖父(息子)も一緒に暮らしていましたが、これも大切にしてくれています。祖父の好きだった食べ物やオカシがあるとお仏壇におそなえしてくれています。

家でも話をしていても、今の自分の心はどう思っているかな？と考えながら話をしてくれたり、自分の中の気持ちをかき出してくれたり、自分の中の、自分の正直な心と向き合う習慣ができた事はとてもよかったです。

日常の生活の中で「あみだ様」「親らん様」を感じながら過ごしている子供達。この先、おおきくなっても、この真つすぐな心に素直に受けとめることができる時期に教えて頂けたことは、必ず残っているのだらうと思います。幼稚園に入ってから、子供に教えてもらう事、気づかせてもらう事たくさんあります。

最近、子供に「ありがと」を言うように心がけています。「おもちやを片付けて、偉かったね」ではなく、「片付けてくれたありがと」「助かったよ」「嬉しう」など、「偉かったよ」「良くできたね」より、自分は役に立っているという満足感、そして自信にもつながるのかなど、子供とも対等であられる気もしています。

私自身、親として、ひとりの大人として、学ぶことが多々あり、いや学ぶことだらけで、新田塚幼稚園のご縁を心から感謝しています。幼稚園を決める際、三園まわったのですが、子どもたちを育てられる最善の園に決められて、本当に良かったです。

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって

第三十三回卒園の南部彩乃さんは、早稲田大学在学中。今までなかった「ダン」スサークルを立ち上げ、振り付けをし、一番前で踊り、みんなを引っ張っていきます。幼稚園の発表会と引きまいたに、今がんばって